

ステークホルダーの皆様へ



「Sysmex Way」の実践を通じて社会に貢献し、
企業価値を向上させていきます。

CEOメッセージ

シスメックスのミッションは
「ヘルスケアの進化をデザインする。」

シスメックスはグループ企業理念「Sysmex Way」において、「ヘルスケアの進化をデザインする。」をミッションに掲げ、事業を展開しています。創業以来取り組んできた検体検査分野を事業の核として、今後もヘルスケア領域での進化に挑戦し、豊かな健康社会づくりに貢献していきます。

長期ビジョン達成に向けて

シスメックスは2020年に向けた長期ビジョン「A Unique & Global Healthcare Testing Company」を達成するため、6つのポジショニングを設定しました。その実現に向けて2015年5月に中期経営計画を策定し、グループのさらなる成長と収益力の強化、成長へ

の投資、変革の推進を行っています。（長期経営目標・中期経営計画は13ページ参照）

中期経営計画1年目の2016年3月期は、業績および事業活動ともに順調に推移しました。2016年3月期の売上高は、中国・EMEAをはじめとする海外においてヘマトロジー分野、血液凝固分野などが好調に推移した結果、前期比14.4%増の2,531億円となりました。営業利益は増収効果やドル、人民元に対する円安の影響もあり、前期比28.3%増の569億円となりました。

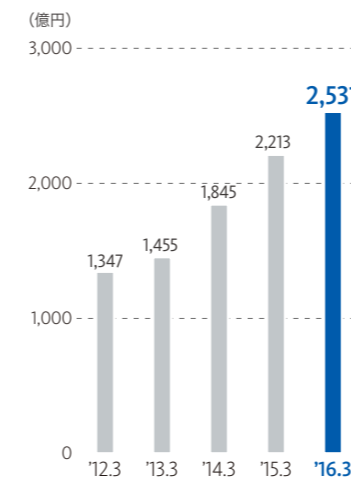
2016年3月期の事業活動としては、主力のヘマトロジー分野においてフラッグシップモデルのXNシリーズの販売拡大などにより収益性が向上しました。血液凝固分野については、中国を中心に好調に推移し、尿分野においては新製品発売に加え、栄研化学株式会社との業務提携により製品ポートフォリオを拡充しました。免疫分野では、日本において当社独自の試薬の販売が好調であり、中国においてもHISCL™シリーズの販売を大幅に拡大するなど、アジアにおける検体検査領域のリーディングカンパニーとしての活動を着実に推進しました。また2015年7月には、今後の試薬の需要増加に対応するため、ドイツの試薬生産

工場を拡張し、生産能力を従来の1.5倍に増強しました。米国の試薬生産工場についても2017年6月の完成を目指して拡張を行っています。

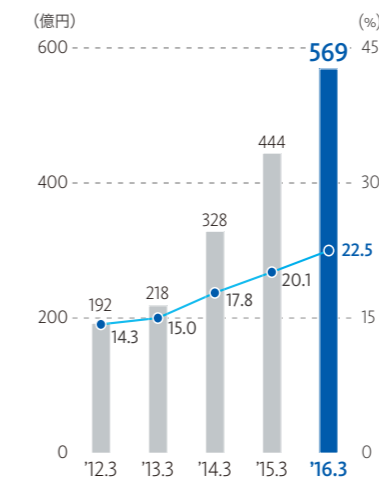
また、今後の成長を加速させるための研究開発も積極的に進めており、ヘマトロジーなど主力検査分野に加え、個別化医療に向けた新たな検査・診断技術の

創出にも取り組んでいます。2016年2月にはエーザイ株式会社と認知症領域に関する次世代診断薬の共同開発にも着手しました。2013年に子会社化したシスメックス パルテック、シスメックス アイノスティックスの事業についても、既存ビジネスとのシナジーを発揮させ、個別化医療への本格参入に向けた取り組みを強化しています。

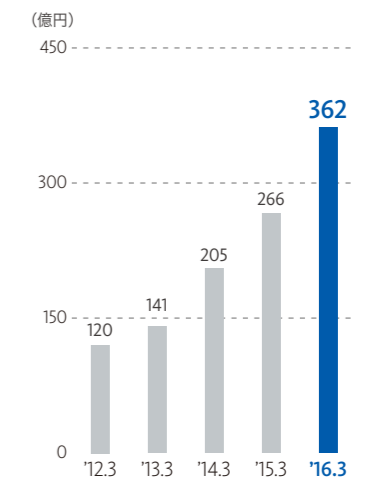
売上高



営業利益
営業利益率



親会社株主に帰属する
当期純利益



社会の課題に対して価値を創出 ～独自の技術で豊かな健康社会づくりを目指す～

先進国では高齢化を背景とした医療費削減や健康寿命の延伸に関するニーズが高まっており、新興国では医療の質向上や医療インフラの整備、医療アクセスの向上が求められています。このような社会が抱えるさまざまな課題に対し、検体検査領域において新たな価値を生み出していくとともに、解決することがシスメックスの役割であると考えています。

私たちは、これまでも時代の変化により生じる課題をいち早く捉え、事業活動を行ってきました。高度経済成長期の1960年代には、健康への関心の高まりにともなう検査ニーズ拡大を見据え、国産初となる自動血球計数装置の実用化に成功しました。その後、より迅速で正確な検査、臨床的意義の高い検査を創出し続けています。また、機器に加え検体検査に必要な試薬とサービス&サポートの提供、さらには効率化を推進するシステム製品の開発など、病院をはじめとしたお客様の多様なニーズにお応えしています。

お客様や患者さんに安心して検査をしていただくための付加価値も生み出しています。例えば、医師がスムーズに診断を行うためには検査結果が不可欠です。シスメックスはサービス&サポートにおいて、機器のエラーを発生前に察知することにより、検査ができなくなるダウンタイムの短縮に努めています。また、患者さんのQOL(生活の質)向上にも取り組んでおり、がんなどの患部組織ではなく、血液や体液を用いて検査を行う、リキッドバイオプシーの実現に向けて挑戦を続けています。

今後も、お客様の期待を超える新たな価値を創造し、独自の知恵と技術で社会が抱える課題の解決に努めていきます。

さらなる企業価値向上に向けて ～人材の多様性とオープンイノベーション～

企業の成長には、目に見えない価値の果たす役割が大きく、中でも人材は成長に向けた重要な原動力のひとつです。シスメックスはさらなる成長に向けて多様な人材の能力開発、育成を推進しています。次世代を担う人材育成とコミュニケーションの活性化を目指し、2015年4月に「グローバルコミュニケーションセンター」を設立しました。コミュニケーションを通じて、互いに価値観を共有し、気づきを得ることで、新たな価値や文化の探求、創出に力を出し合うことを目指します。

もうひとつの重要な目に見えない価値は、外部とのネットワークです。グローバル競争においては、自社単独ではなく、広い視野でネットワークを拡大することが不可欠です。シスメックスは、独自の直接販売・サービス&サポート体制に加え、アライアンスを活用したグローバル展開を加速させています。また、研究開発においても、国立がん研究センターなど、さまざまな研究機関や企業、大学などとのコラボレーションを積極的に進めています。例えば、シスメックス アイノスティクスは、2015年12月ドイツのメルク社と共同で転移性大腸がんの抗がん剤を対象としたコンパニオン診断薬^{*}(研究用)の運用を開始しました。がん組織ではなく血液を用いて行う本検査は、患者さんの負担を軽減するとともに、転移性大腸がんの治療において、迅速な治療法の決定に寄与することが期待されます。

さらに、2015年9月には、個別化医療の実現に向けた研究開発の取り組みを加速させるため、オープンイノベーションラボをシスメックスの研究開発の中核拠点「テクノパーク」内に開設しました。国内外の研究者とのコラボレーションによる先進的で価値の高い検査・診断技術の創出を目指します。

^{*}コンパニオン診断薬：医薬品の効果や副作用を投薬前に予測するために用いられる臨床検査



ステークホルダーの皆様へ

私たちは、お客様や株主の皆様をはじめとするさまざまなステークホルダーの皆様から高い信頼を得ながら成長してきました。今後もコーポレート・ガバナンスにおいて、経営の健全性、透明性を高め、株主・投資家の皆様との対話(エンゲージメント)を積極的に行い、持続的に企業価値を向上させていきます。経営体制は、2016年6月に監査等委員会設置会社に移行し、社外取締役を3名増員し、合計4名としました。取締役会の監査監督機能を強化するとともに、経営の透明性、客観性を向上させ、ガバナンス体制の一層の充実を図ります。また、財務情報の国際比較を可能にすることで、国内外の投資家の皆様の利便性を高めることを目的とし、2017年3月期第1四半期から国際会計基準(IFRS)の任意適用を開始しました。

シスメックスには今後も大きな成長機会があると確信しています。さらなる成長に向けて、技術プラットフォームの強化や生産、販売・サービス&サポート体制の充実を目指し、積極的に研究開発や設備投資、そしてM&Aも続けていきます。株主還元については、積極的な投資と株主の皆様に対する利益還元との

適正なバランスを目指し、連結配当性向は30%を目途としています。2016年3月期の配当は、期初計画より12円増配し年間52円、配当性向は29.8%となり、14期連続の増配となりました。今後も継続的な安定配当を目指してまいります。なお、2016年3月期のROEは20.4%となり、今後も健全な財務バランスを維持しながら、ROEの向上を目指します。

シスメックスは、企業理念のもと、独自の強みを活かし、社会に新たな価値を提供することで企業価値を高め続けていきます。ステークホルダーの皆様には、引き続き中長期的な視点でシスメックスの挑戦をご支援いただき、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年9月

代表取締役会長兼社長

家次恒

長期・中期経営計画

グループ企業理念「Sysmex Way」のもと、
長期経営目標、中期経営計画を推進しています。

ビジョン
A Unique & Global Healthcare Testing Company

ポジショニング

長期経営目標
(2020年)

ヘマトロジー、血液凝固、尿分野におけるグローバルNo.1
(アライアンス含む)
当社の中核事業として、グループのさらなる成長を支える
収益基盤を構築します。

アジアIVD(検体検査)市場におけるリーディングカンパニー
地理的な優位性を発揮し、ヘマトロジー分野以外の免疫などの
成長分野においてもアジア市場で確固たる地位を築きます。

免疫分野におけるユニークで存在感あるプレイヤー
他社にないユニークな強みを発揮し、中期の成長ドライバーとして、
グループの成長を牽引します。

個別化医療に貢献する先進的なグローバルプレーヤー
先進的な技術に基づく検査(診断)の価値向上を通じ、
グループの成長加速とグローバルな存在感を確立します。

価値と安心を提供する魅力あふれる会社
多様なステークホルダーに価値と安心を提供する
魅力ある会社を目指します。

スピード豊かな経営を実践するOne Sysmex
グループ全体で最高のチームワークを発揮し、
高効率でスピード豊かな経営を実践する企業体を目指します。

中期経営計画
(2016年3月期～
2018年3月期)
2015年5月公表

成長と収益力の強化

- ヘマトロジー・血液凝固・尿
- アジア地域

成長への投資

- 免疫・FCM※・ライフサイエンス

変革の推進

- ステークホルダーからのさらなる信頼の獲得
- グループ経営の強化

※FCM：Flow Cytometryの略。微細な粒子を流体中に分散させ、その流体を細く流して、個々の粒子を光学的に分析する手法のこと。主に細胞を個々に観察する際に用いられる。

経営数値目標(2018年3月期、日本基準)

売上高	3,000億円	(CAGR = 10.7%)
営業利益	630億円	(CAGR = 12.4%) (営業利益率21.0%)
ROE	18.0%	
営業キャッシュ・フロー	500億円	
フリー・キャッシュ・フロー	200億円	

想定レート：1USD=115円、1EUR=130円、1CNY=18.5円
CAGR(年平均成長率)：2015年3月期-2018年3月期
(注)中期経営計画(3年間)は2年ごとに策定(新中期経営計画は2017年5月公表予定)

財務に対する考え方

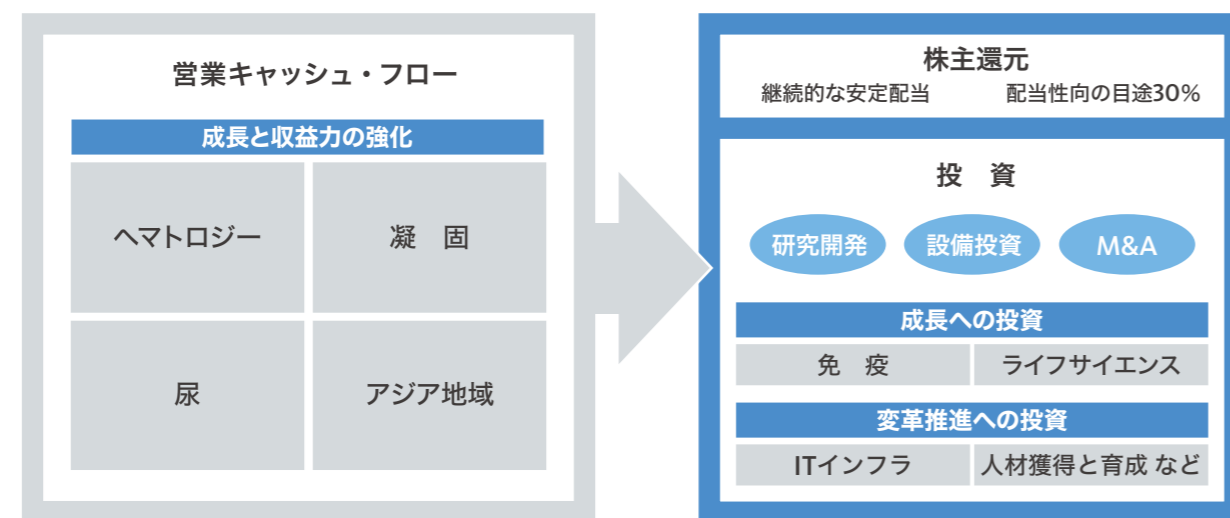
積極的な投資を行うとともに、 適正な株主還元を行います。

資金の創出と使途

シスメックスは、ヘマトロジー、血液凝固、尿などシェアの高い分野およびアジア地域での成長などにより収益力を強化し、営業キャッシュ・フローを拡大しています。

創出した資金から、さらなる成長に向け研究開発、設備投資、M&Aへの投資を積極的に行っています。

また、主力ビジネスに加え、特に免疫やライフサイエンスなど成長の柱となる事業、およびITインフラの整備や人材獲得・育成など変革の推進への投資にも注力しています。なお、株主還元については、継続的な安定配当に留意し、ROEのさらなる向上を目指します。

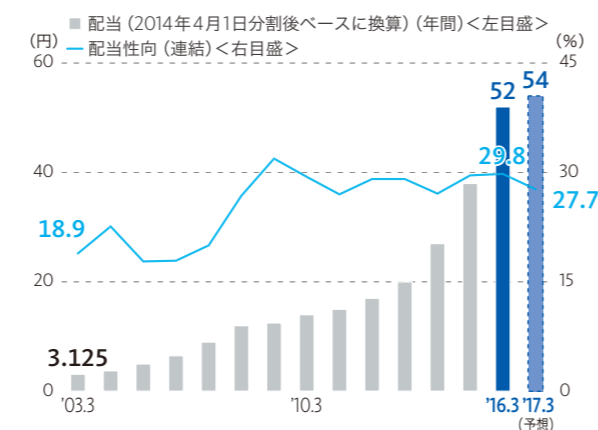


株主還元

安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上にともなう株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しています。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

- 継続的な安定配当に留意
- 配当性向30%を目処に実施
- 14年連続で増配

配当額と配当性向の推移

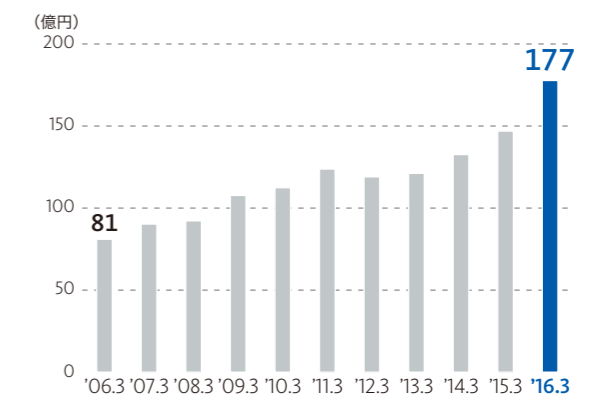


企業価値向上に向けた積極的な投資

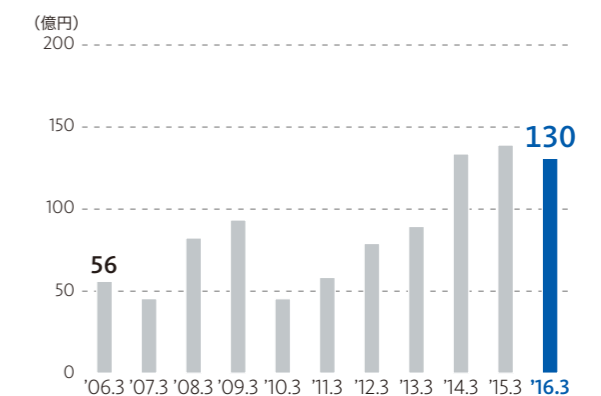
シスメックスはさらなる成長に向け、免疫やライフサイエンスなど今後の成長を加速させるための投資を行っています。また、価値の高い新しい検査や診断技術の創出に向けた研究開発、グローバルな供給責任を果たすための生産工場拡張などの設備投資、技術プラットフォーム拡充を目的としたM&Aなどを行っています。その結果、過去10年間の研究開発費および設備投資の金額は増加傾向にあります。

- 免疫、ライフサイエンスなど今後の成長を加速させるための研究開発
- グローバルな供給責任を果たすための生産工場拡張などの設備投資
- 技術プラットフォーム拡充などを目的としたM&A

研究開発費



設備投資 (有形)



ROE

2016年3月期にROEは20.4%となり、2006年3月期から7.9ポイント改善しました。今後も健全な財務バランスを維持しながら、ROEの向上を目指していきます。

- 適正な株主還元を継続
- 健全な財務基盤を維持
- 利益の増加

ROEの推移

